

# 株式会社大平昆布

宮城県栗原市/食料品製造業  
https://www.taiheikonbu.co.jp/

## 事業概要

株式会社大平昆布は、1948年の設立以来、昆布を中心に海藻の販売・加工に携わって参りました。近年、食の多様化、西洋化にともない、海藻が家庭の食卓に並ぶ機会が減ってきている中、当社は「海藻の良さをもっと多くの人に伝えていきたい」という考えのもとに事業を営んでいます。



省エネお助け隊（※）による省エネルギー診断を受診し、「冷凍冷蔵設備の更新」について提案を受け、事業場の省エネルギー化を図る計画を立案。本事業を活用し、高効率設備に更新しました。

※「省エネお助け隊」は、経済産業省 資源エネルギー庁の「地域プラットフォーム構築事業」で採択された地域密着型の省エネ支援団体です。中小企業等の省エネ取組に対して現状把握から改善まできめ細やかなサポートを行います。

## 事業者メッセージ

法定耐用年数を超えて使用している冷凍冷蔵庫の更新を検討していたところ、省エネお助け隊に相談し、省エネルギー診断を受診から省エネの対策をはじめました。冷凍冷蔵庫だけではなく事業所の全てを調査し現状把握から改善まで省エネの取り組み方や機器の選定、どの補助金が活用可能か等、さらに書類の作成まで丁寧にサポートして頂きました。省エネの最初の取り組みとして本社事務所・工場、第二工場、第三工場の照明のLED化および2台の冷蔵設備を、補助金を活用し更新。投資コストも抑えられ、電気代の削減まで出来、経営改善につながりました。社員の省エネ意識も高まり補助事業終了後も省エネお助け隊に相談し、更なる省エネを目指し高効率空調設備の更新などを行っております。今後も積極的に設備更新を実施して省エネ化を図りたいと思います。

## 省エネ効果

エネルギー使用量

46.05(kl/年)

省エネルギー量 36.05(kl/年)

補助対象設備の省エネルギー率 78.2%

削減コスト 323(万円/年)

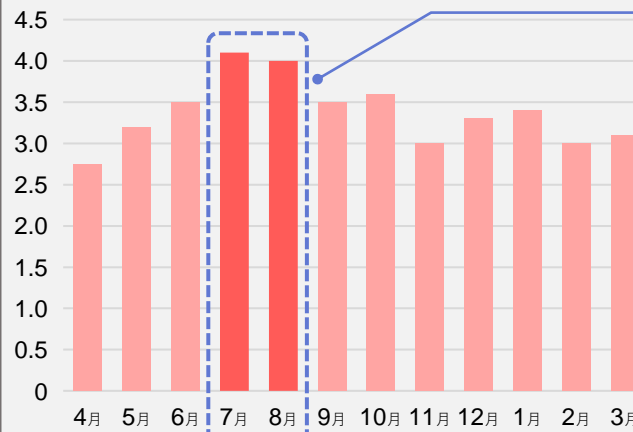
※ 削減コストは、電力利用額：1 kWh当たり2.0円を乗じた値

令和4年度事業

補助対象経費 395万円  
補助金 196万円

## 省エネのPOINT

設備更新前の月別エネルギー使用量 (kl)



### 診断結果

エネルギー使用量は夏季のみ増加し、それ以外は大きく変化が見られないことから、外気温上昇による冷蔵庫の負荷増加が原因であった。

コンデンシングユニットを省エネ型の高効率機器に更新

省エネ・コスト削減を達成!

## 導入設備



### 冷凍冷蔵設備

| 種別          | 成績係数 (COP) |
|-------------|------------|
| コンデンシングユニット | 0.96       |
| 呼称出力        | 台数         |
| 9.80 kW     | 2台         |



冷凍冷蔵設備

省エネ診断を受診し、設備更新による省エネを実現